

通所リハビリ併用利用者と 通所介護単独利用者との 比較・分析



デイサービスはなぶさ

かみあか

えいぞう

発表者

上赤

栄造(介護福祉士)

共同研究者:看護師 古賀 かすみ、准看護師 濱田 ひとみ、介護福祉士 永井 智喜

《はじめに》

- 通所介護と通所リハビリが隣接している。
- 通所介護と通所リハビリがそれぞれの役割を担い利用者をケアする環境を整えている。
- 両事業所を併用利用者が増えているので、今回は併用利用者と単独利用者の間に取り組みに対する意欲の差があるかについて考察したのでここに報告する。

《対象と方法》

【対象者】

● デイサービスはなぶさ利用者

男性12名 女性19名 合計31名

・併用利用者は男性4名・女性5名（平均介護度 2.1 ± 2.3 ）

・単独利用者は男性8名・女性14名（平均介護度 2.2 ± 2.5 ）

《対象と方法》

【評価期間】

令和2年9月1日～令和3年9月30日（1年間）

【比較・分析の方法】

- (1) 単独利用者と併用利用者のバーセルインデックスの変化を調査
- (2) 利用者の行動変化について分析

《結果》

(1)バーセルインデックスの数値では単独利用者と併用利用者には大きな変化は見られなかった。

(2)評価期間中、単独・併用利用者どちらも介護度は維持出来ていた。

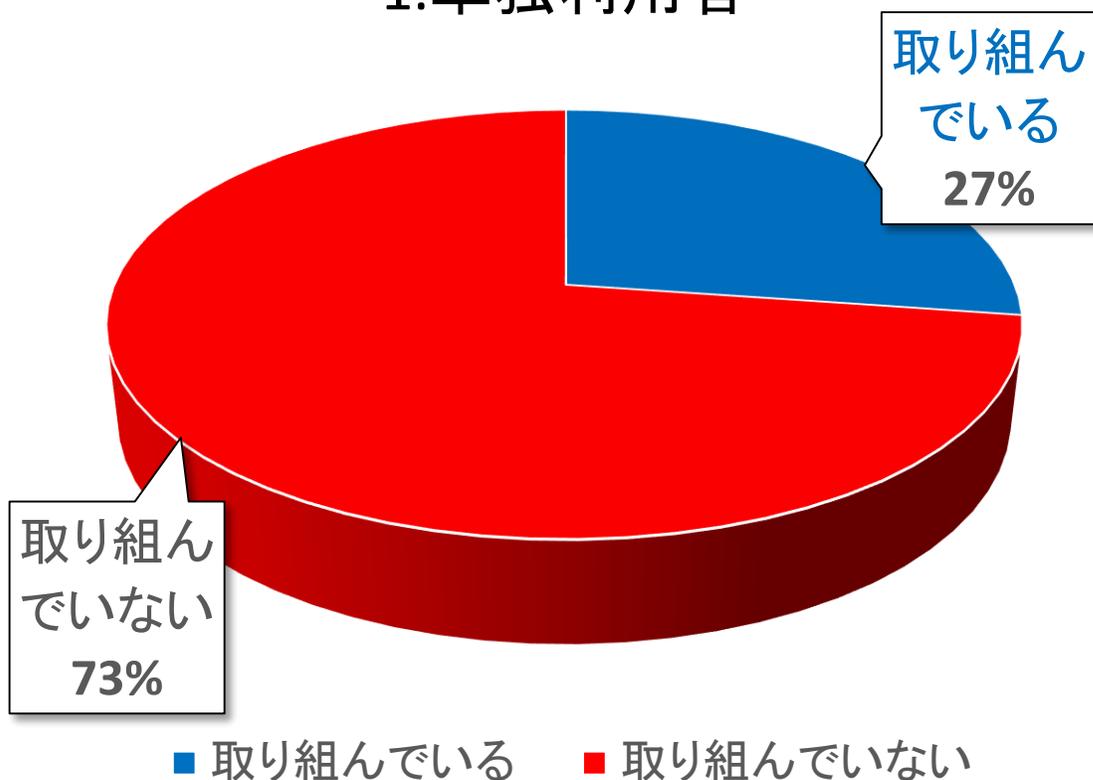
《結果》

(3)併用利用者の中には自分から取り組みたい事を開始する意欲向上には大きな変化が見られた。

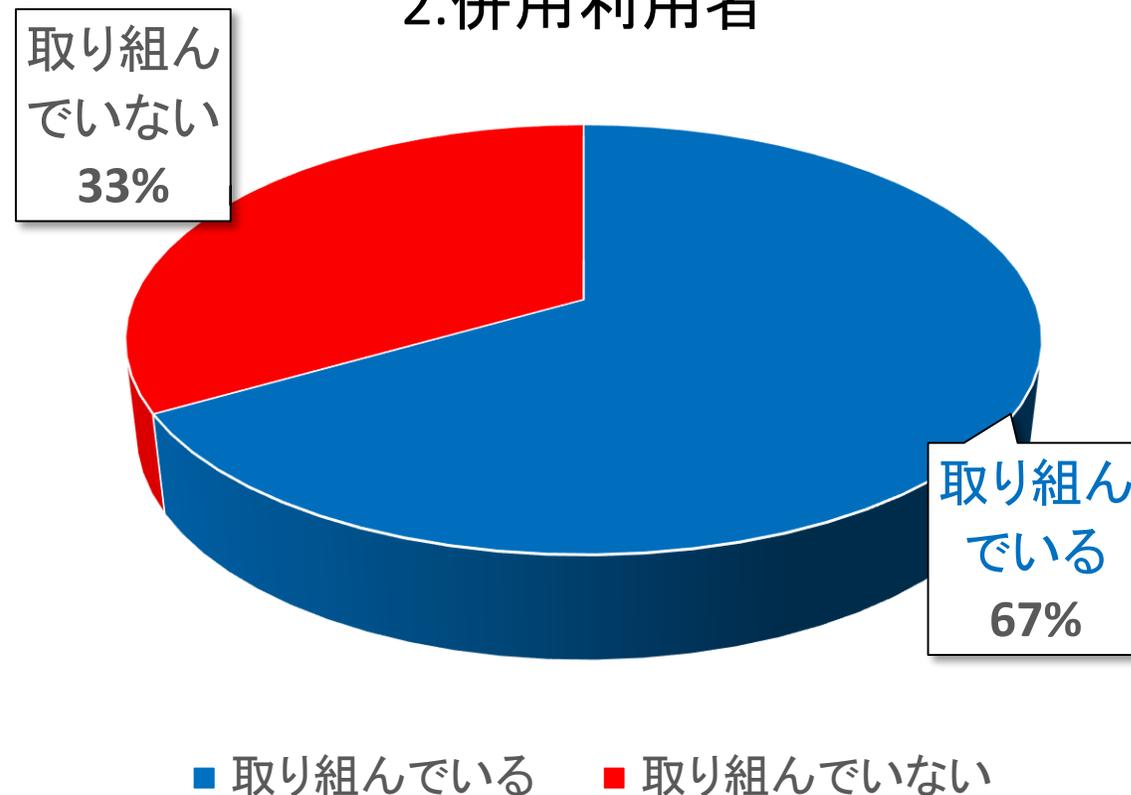
<表1>	A氏	B氏	C氏	D氏	E氏	F氏	G氏	H氏	I氏
要介護度	要介護1	要介護1	要介護2	要介護2	要介護4	要介護1	要介護1	要介護2	要介護1
やりたい活動の取り組み内容	学習帳	特にしていない	ネット手芸	習字	特にしていない	自主歩行訓練	塗り絵	洗濯物たたみ	特にしていない

【日課以外のやりたい活動に取り組んでいる状況】

1. 単独利用者



2. 併用利用者



《考察・まとめ》

- 身体機能については併用利用者、単独利用者で大きな差はなかった。
- 併用利用者は日課以外のやりたい活動を意欲的に取り組んでいる。
- 身体機能向上を目標にしている利用者は高い向上意欲を持っていると思われる。
- 通所リハビリとの併用は少なからず効果があるのではないかと思われる。